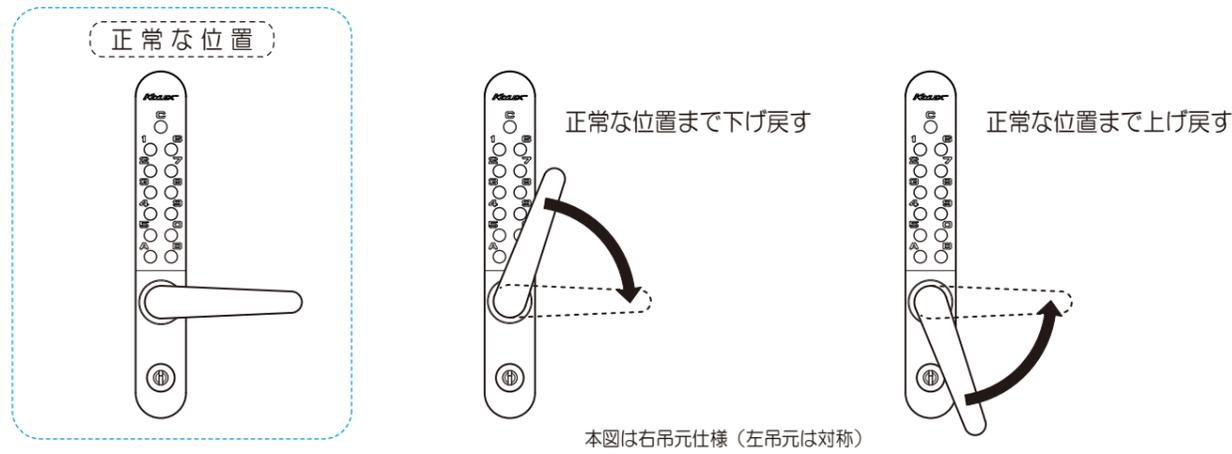


レバーハンドルの位置が正常でない時

レバーハンドルの位置が、下図になった時は、正常な位置に戻します。

レバーハンドルに『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にレバーハンドル操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して、上（下）位置でとまります。故障ではありません。



記憶番号設定に関するご注意

- KL800は1～12桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。（同じボタンを2度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的にし締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - レバーハンドルにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - テッドポルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、レバーハンドルの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

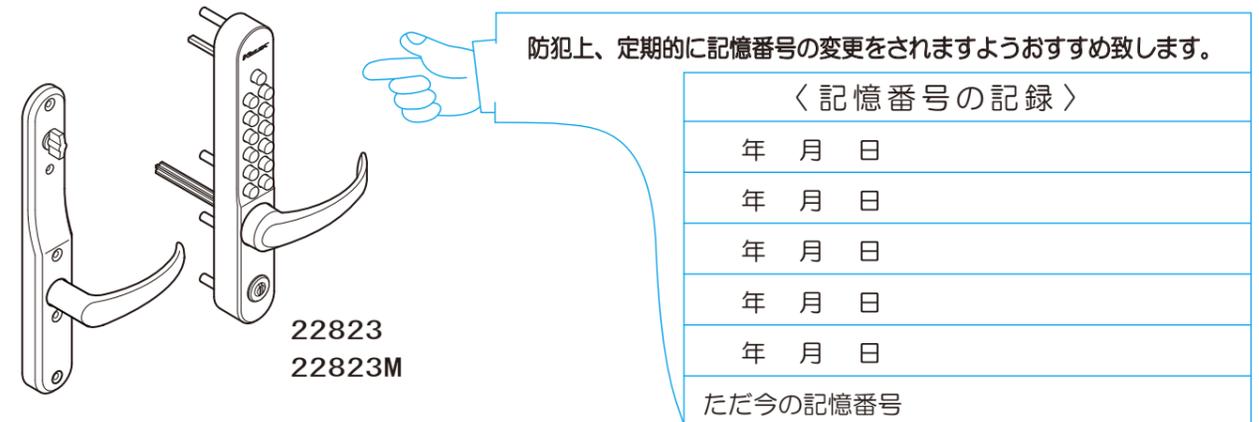
ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

KEYLEX 800®

KL800
自動施錠

取扱説明書 (施主様向)

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



キーレックス 800 シリーズ 保証書

お買い上げ日から1年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する故障、又は本証のお買い上げ日及び販売店名の欄に記入がない場合は、保証期間内でも有料修理になります。

機種名: キーレックス 800 22823, 22823M

お買い上げ日: 年 月 日 保証期間: お買い上げ日より1年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.

検印



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

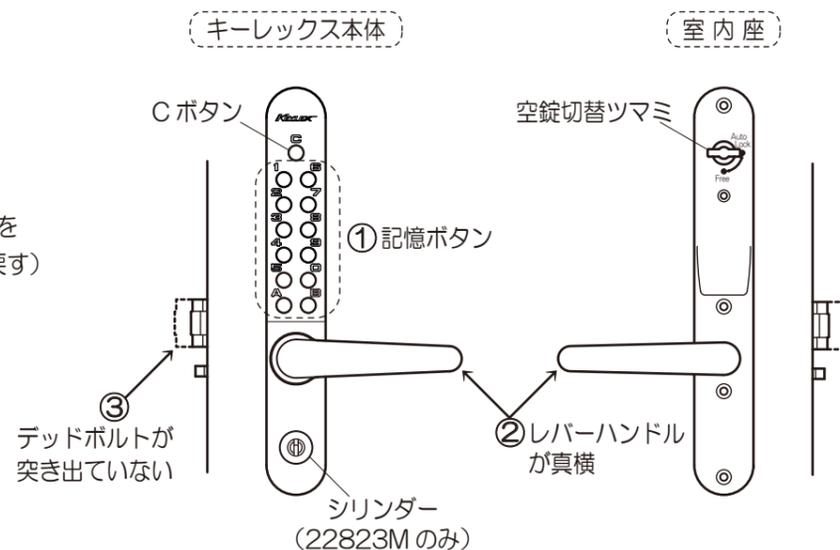
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

基本操作

ご使用前に確認してください。

- 登録している記憶番号
- レバーハンドルが真横にある
- 錠のデッドボルトが突き出ていない
(突き出ている場合は、レバーハンドルを操作して、デッドボルトを正常位置に戻す)

鍵付タイプの場合は、記憶ボタン操作を行わずにキー操作で開扉できます。



室内側

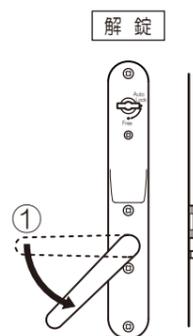
室外側

施錠

- 扉を閉めると、自動で施錠されます (Auto Lock 時)

解錠

- レバーハンドル操作で、解錠できます



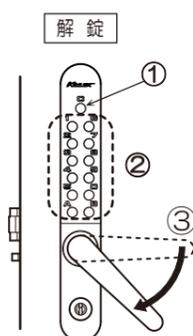
※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

施錠

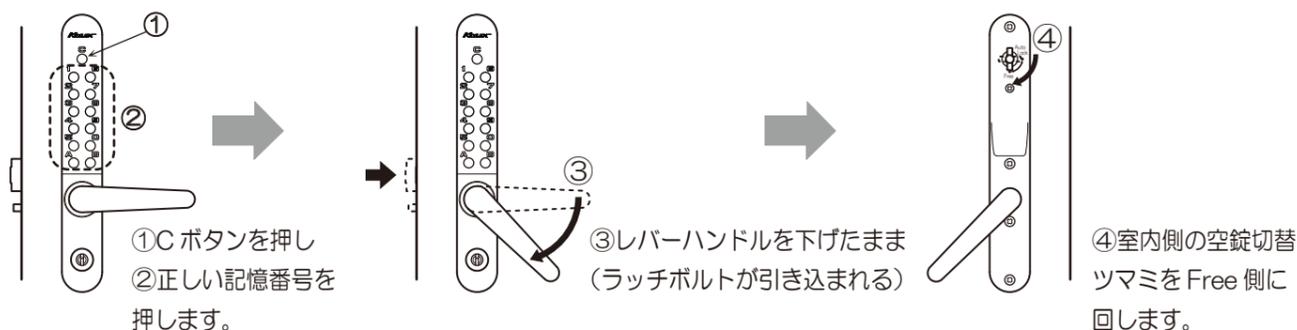
- 扉を閉めると、自動で施錠されます (Auto Lock 時)

解錠

- Cボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- 正しい記憶ボタンを押します
- レバーハンドル操作で、解錠できます



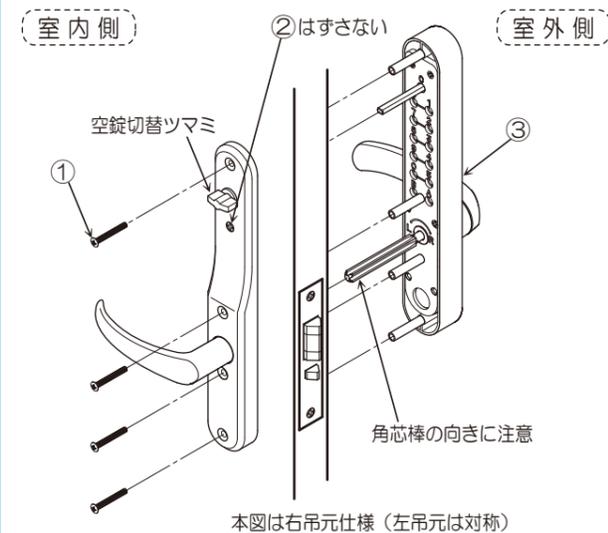
空錠切替ツマミで、扉を閉めても鍵がかからない状態 (空錠) にすることができます (Auto Lock から Free)。 (Free から Auto Lock へは、逆の手順で切り替えます)



記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。

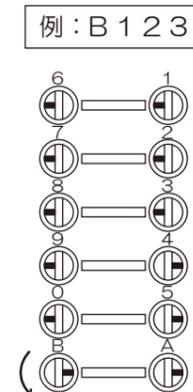
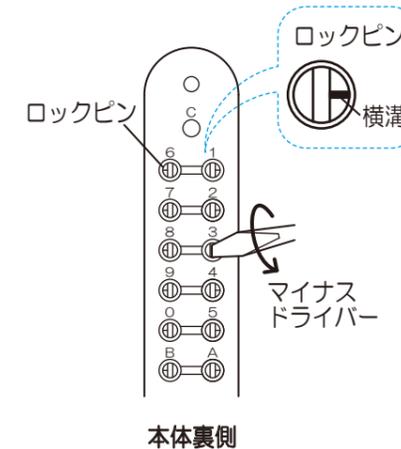
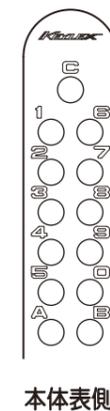


本図は右吊元仕様 (左吊元は対称)

- I: ①本体固定ねじ4本をはずします。
②室内座固定ねじは、はずさないでください。
(扉に室内座を固定しています)
- II: ③キーレックス本体を取りはずします。

【2】記憶番号の設定変更をします

- 本体表側のCボタンを押します。
- 本体を裏向きにし、記憶されているロックピンを回転させ (右側は左回転, 左側は右回転でロックピンの横溝を外向きにする) すべてをクリアします。
- 新規に記憶する番号を必ず記録します。本紙1ページに記入欄があります。
- 新規記憶番号のロックピン横溝を中央部の横溝にあわせませす。



- Cボタン+新規記憶ボタンを押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます
角芯棒, 空錠切替ツマミの向きに注意して取り付けます (上図参照)。

取り付けたら、扉を閉めずに2ページの基本操作で作動確認をします。